

# マルチホーム解剖学 - 実例とその分析 -

パネルコーディネータ:

荒野高志 (NTT コミュニケーションズ)

パネリスト:

前村昌紀 (NEC)

山口二郎 (IJJ)

中川郁夫 (INTEC システム研究所)

# マルチホームとは？

- ある1つのネットワークがprimary/backupあるいはload balancingなどの目的で、the Internetへの2つ以上の到達可能性をもつとき、そのネットワークはマルチホームしているということとする
- **マルチホームの動機**
  - 可用性のため
  - 接続性のため
  - 宣伝のため(?)

# 今なぜマルチホーム？

- インタネットのビジネスユース
  - 企業でも信頼性の高いネットワークが必要？
- AS番号の取得数
  - アメリカ            915 /year (1998年)
  - 韓国                10 /month (ここ半年)
  - 日本                21 /year (1998.10-1999.9)
- マルチホーム技術の体系化が必要か？

# 論点

- マルチホームに関するユーザ要求
  - マルチホームの目的
  - アプリケーション
  - IPアドレスの種類
  - ヒューマンファクタ .....
- 実現方法
  - BGP? NAT?
- 評価方法
- レジストリ的问题

# マルチホームワークショップ

- マルチホーム技術の体系化 / ドキュメンテーションを目標
- JEPG/IPとJANOG有志で企画
- 第1回
  - 1999年12月9日 東大にて
  - 20名程度のクローズなミーティング

# *presentation*

- アドレッシングとルーティングについて
  - 前村さん
- マルチホームの実例と分類
  - 山口さん
- マルチホームワークショップの議論
  - 中川さん
- 議論